

京王電鉄京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業 新しい駅舎の外観デザインを決定

杉並区は、東京都、渋谷区、世田谷区及び京王電鉄株式会社と連携し、京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業を進めています。

この度、本事業において新しく整備される7駅（代田橋駅・明大前駅・下高井戸駅・桜上水駅・上北沢駅・芦花公園駅・千歳烏山駅）の駅舎の外観デザインを決定しましたので、お知らせします。

デザインの決定にあたっては、平成29年9月に世田谷区が沿線地域にお住まいの方々や、駅利用者の皆様等から駅舎の外観デザインに関するアイデアを募集し、その内容を参考に京王電鉄株式会社がデザイン案を作成しました。その後、平成30年9月から11月にかけて、作成したデザイン案について意見募集を実施し、いただいた御意見を参考に外観デザインを決定しました。

引き続き、事業の早期完了に向け、東京都、渋谷区、世田谷区及び京王電鉄株式会社と連携し事業を推進してまいります。

※本件は東京都、渋谷区、世田谷区及び京王電鉄株式会社と同時発表しています。

新駅舎の外観デザイン（イメージパース）とデザインのポイント

（1）代田橋駅



【デザインのポイント】

レンガ調や透明感のある素材を組み合わせることで、近隣の歴史的な建築物や玉川上水の流れを感じさせるデザインとしました。

（2）明大前駅



【デザインのポイント】

透明感のある素材をリズムカルに組み合わせることで、街の賑やかさと移り変わりが間近に感じられるデザインとしました。

(3) 下高井戸駅



【デザインのポイント】

温かな色彩の大庇を街へ向けて広げることで、賑わいのある商店街との繋がりを表現したデザインとしました。

(4) 桜上水駅



【デザインのポイント】

木質調等自然と調和する質感や柔らかな配色により、静かな住宅街と共存するデザインとしました。

(5) 上北沢駅



【デザインのポイント】

落ち着いた色合いと透明感のある素材を組み合わせることにより、地元のシンボルである桜並木が映えるデザインとしました。

(6) 芦花公園駅



【デザインのポイント】

木質調の縦格子を連ねることで書架を表現し、文学にゆかりのある街を感じさせるデザインとしました。

(7) 千歳烏山駅



【デザインのポイント】

温かみのある配色と開放感のある粗目の格子により街との一体感を演出し、賑わいのある街に溶け込むデザインとしました。

※これらのパースは現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

※いただいた御意見の詳細については世田谷区ホームページをご覧ください。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/802/d00164375.html>